

平成 24 年 11 月 27 日 00094 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】

### 中学校武道必修化安全指導への外部指導者と指導者間の実技打ち合わせ

11 月 16 日(金)19:00 に市立体育センター(第 2)において、柔道授業を安全で楽しく行うことができるよう、実技講習を兼ねた第 2 回目の打ち合わせが行われました。日頃、北見柔道連盟・北見市柔道協会が柔道普及のために、毎週金曜日に練習場所の開放(合同稽古)を行っており、その会場を使用するの打ち合わせ会となりました。集まったのは、北見市光西中学校に外部指導者として支援する、中澤伸一六段と北見市東陵中学校を外部指導支援する佐藤壽春七段、北見市東陵中学校体育指導の相楽典子(さがらのりこ)教諭の 3 名で、外部指導者のあり方や安全指導の確認、専門的助言などを協議し、柔道の授業をスムーズに展開するための役割分担も事前に打ち合わせを行いました。相楽教諭は「お陰で、柔道授業のイメージが浮かんできました。安全に配慮しながら楽しい授業にしたいです。」と武道必修(柔道)授業に意気込んでいました。



## 【第 17 回北見市総合武道祭レポート】⑤合気道

緊張の中五番目の演技、合気道は護身術として知られていますが、礼儀・心身の修業を主とします。出場者は、小学生・一般・私(わたくし)と登場、内容は基本型と応用技を三部門に分けて披露させていただきました。演武を通じていつもの練習通り、平常心で出来たことを嬉



しく思い

ます。武道祭を通じて一般市民の方々に見て頂き、広く理解・協力を得て普及発展の礎と成る事を願います。関係役員の方々、御苦労さまでした。(伊藤)



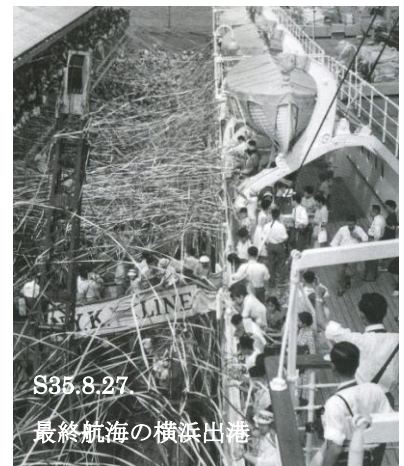
## 連載【週刊氷川丸】⑫ 氷川丸最後の航海

シアトル航路に復帰した氷川丸は再び貨客船として活躍しますが、船齢 30 年という老朽化に加えて飛行機の普及や、積荷の激減から、1960(昭和 35)年には、とうとう引退が決定しました。旅客輸送は飛行機へ、貨物輸送は専門船へと時代が移りゆくなか、日本郵船は客船事業から撤退しました。氷川丸は 1960(昭和 35)年 8 月 27 日、乗客 258 人を乗せ、横浜から最後の航海に出ました。バンクーバーでは 5 日間、シアトルでは 2 日間、長い間市民に親しまれた氷川丸のために盛大なお別れ会が開催されました。10 月 1 日に横浜、同月 3 日に最終寄港地の神戸に帰着。どの港も



任務を終えた乗組員全員の集合写真

氷川丸とのお別れを惜しむ多くの人々で埋めつくされました。こうして 1896(昭和 29)年に開設した日本郵船のシアトル定期客船サービスは、氷川丸の引退によって歴史の幕を閉



S35.8.27.

最終航海の横浜出港

じました。つづく次週は氷川丸 海の教室ユースホステルをお伝えします